

# 薪づくり体験で森の恵み感じる

町産業振興協議会（会長・鈴木重男町長）主催の第16回・薪・牧・巻・トリプルまきフェスタが10月1日、くずまき高原牧場で開催され、町内の小学生や林業関係者ら約210人が参加しました。

開会式で鈴木町長は「森林無くして我々の生活は成り立ちません。都市にはない葛巻の魅力を再認識し、この活動を続けていきたいと思います」とあいさつ。参加者は、土谷川地区の町森林公園で木の伐採体験や薪運び、



伐採体験をする子どもたち

薪割り体験に汗を流しました。

伐採体験をした加賀谷灯真さん（五日市小6年）は「木を切るのは初めてで大変だったけど最後まで頑張った。のこぎりを引くとき下に力を入れるとよく切れて楽しかった」と、伐採のコツをつかんだ様子でした。

薪割り体験では、関係者が長年の経験を生かして子どもたちにアドバイスする場面もあり、参加者は森の恵みを存分に感じた様子でした。



チャレンジハウスでの薪割り体験

## まちなかイベントさまざまに くずまきの秋を満喫



歩行者天国で行われた路上ライブ

さわやかな秋晴れに恵まれた10月1日と2日の2日間、まちなかエリアでさまざまなイベントが開催されました。

JR葛巻駅構内で開催されたまちなか紅葉まつり（まちなか活性化協議会主催）のオープニングセレモニーでは、吉澤信光会長が「歩行者天国となったまちなかで、紅葉まつり、くずまきクラフト市など思う存分楽しんでください」とあいさつ。会場ではお菓子まきや屋台村、歌謡ショーなどのほか、第15回全日本薪積み選手権大会も開催されました。

2日の午前10時30分から午後3時には国道の一部が歩行者天国とな



まちなか紅葉まつりのお菓子まき

## 第11回薪積み・薪づくりコンテスト 個性豊かな薪積み各地で



（一社）葛巻町畜産開発公社の「イグルー」（最優秀賞）

家庭や地域で積んでいる薪を対象とした第11回薪積み・薪づくりコンテストに9点の応募があり、個性豊かな作品が各地域で道行く人の目を楽しませました。

コンテストでは、薪積みの基本である通気性や安定性のほか、アート性や景観との調和などを総合的に評価。審査の結果、薪を筒状に積み上げてイヌイットのかまくら「イグルー」を再現した（一社）葛巻町畜産開発公社の作品が最優秀賞に輝きました。

## 第15回全日本薪積み選手権大会 「牛」をテーマに競い合う

第15回全日本薪積み選手権大会が10月2日、JRバス葛巻駅構内で開催されました。参加した6チームは、「牛」をテーマに薪を積み上げ作品を創作。途中で薪が崩れるハプニングもありましたが、各チームは制限時間内に作品を仕上げました。千葉幸司審査員長（盛岡広域振興局林務部林業振興課長）らが芸術性、通気性、安定性の項目で審査した結果、「ミルク缶」の形に積んだ町青年連合協議会が優勝しました。



薪積みで競い合う参加者（左が優勝した青年連合協議会）

り、買い物客らが道路に並べられた椅子やテーブルでくつろぎ、ブラスバンドの路上ライブや有志によるダンスパフォーマンスなどを楽しんでいました。会場には親子連れや高校生などの姿も多く見られ、若い世代もイベントを満喫した様子でした。

### クラフト市が5周年に エリアビジョンを形に

5周年を迎えたくずまきクラフト市（同実行委員会主催、南館則江実行委員長）には2日間で53店舗が出店し、空店舗などに陶芸や木工、手芸などの手仕事作品が賑やかに並びました。

平成29年10月に初開催した同イベントは、まちなかの賑わいを創出し、町内外の交流人口を促進するイベントとして定着しています。南館実行委員長は「自分たちの思いだけで始めたイベントが、5年のうちに多くの人が心待ちにしてくれるものに成長した。回を重ねるごとに関わる人や協力者が増え、今回は長時間の歩行者天国が実現し、『歩きまわりたくなるまちなか』というエリアビジョンを実現する一つの形になったと思う」と話していました。



火起こし体験④と桜をモチーフにしたベンチを作るワークショップ

### まちなか周遊を促す アウトドアイベント

くずまきDMOまちなか賑わい創出部会では、役場裏のさくら公園を会場に、「茶番祭」と称したアウトドアイベントを初開催しました。

同部会は「自然を味わうまちなか暮らし」「ジブングトで楽しむまちなか」「まちなかを盛り上げる仲間づくり」の3つをテーマにイベントを企画。テントサウナや木工ワークショップ、焚き火会など、趣向に富んだ催しで、くずまきクラフト市の来場者の周遊を促しました。

参加者は、豊かな自然を体感するまちなかの新たな楽しみ方に触れたようでした。